

予対請願署名・カンパ活動

予算対策国会請願署名並びにカンパ活動には、ご理解ご協力をいただき誠にありがとうございました。この状況につきましては、後ほどご報告をさせていただきます。

職員研修会

島根私保連研修部の第1回研修会は、9月27日(土)に大田市・あすてらすにおいて開催し、保育関係者123名が参加しました。

午前中は、埼玉・仲よし保育園長の水上克己先生による、「保育園をめぐるさまざまな動向と、今私たちに求められていること」と題して、保育制度を取り巻く情勢や子どもや家庭の現状からこれからの課題、具体的な取り組み等について、お話をいただきました。

午後からは、中京大学教授鯨岡峻先生から、「新保育所保育指針を読んでこれからの保育を考える」と題しての講義がありました。

第2回目の研修会は、11月21日(金)～22日(土)に松江市八雲町にて調理担当者を対象にして行います。内容については、21日の研修1は、女子栄養大学教授岡崎光子先生による「幼児への食育の実践」の講義、22日の研修2は、井原文枝先生による「心温まる和の食卓を子どもたちへ」の調理実習があります。

この調理担当者研修会については、加盟園の皆様にはすでにご案内をしています。またホームページにも掲載(ダウンロード可)していますので、詳しくはご覧下さい。

尚、2日目の「研修2」は受け入れ人数に限りがあります。誠に申し訳ありませんが、「研修2」についてのみ先着30名までに限り受け付けさせていただくこととなりますので、この旨ご理解ご了承下さい。

また、申し込みに際して、研修1・2ごと別々に参加費を必要とします。締め切りは11月7日(金)必着です。あわせてご了承下さい。

全私保連中国四国ブロック研修 “子育てルネッサンス in おかやま”

10月22日(水)、岡山県総合福祉会館において、全私保連が推進している「子育てルネッサンス運動」の一環であり、中四国ブロック会議の研修 “子育てルネッサンス運動シンポジウム in おかやま” は、「再考乳幼児期の保育/教育とは何か?...日本の“子育て力の再生”を考える」というテーマで開催され、284名(内、島根43名)の参加がありました。

午前中は、白梅学園大学長汐見稔幸先生による「保育所保育指針改定について」の基調講演があり、保育指針改定の経緯をEU先進国の保育・幼児教育の現状を踏まえながら、中教審幼児教育部会の「幼児教育振興アクションプログラム」を通じ、保育の質の向上や、保育の内容、問題点等についてお話がありました。

午後からは、「乳幼児期の育ちと保育・教育に求められるもの」としてシンポジウムがありました。

このシンポジウムは、子ども(育成)、保護者(支援)、情勢(社会)の三つの柱から考えていく展開で、まず、シンポジストの岡山県・岡山協立保育園長坪中弘子先生と作陽保育園副主任保育士桐山千世子先生から、各園で取り組んだ事例発表がありました。

進行役を兼ねた熊本学園大学教授の宮里六郎先生は、発達障害児などの保育の難しい子やその親への対応を通じて「おおらかな保育で、親も子も両方支える関係づくり」を述べられました。

また、全私保連常務理事(木更津市・岩根保育園長)の平野弘和先生は、保育の質について、「保育の実践が、子どもの最善の利益にかなっているか、それを社会に発信し、自らがチェック・評価していく必要がある」と述べられました。